

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-09		交通安全対策事業						
	□支援部門								
主管課	道路課		関連課						
分野名	道路整備								
目標 (目標値)	人と環境にやさしい道路の整備								
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考				
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状 況	決算値(千円)	54,385	1,050	45,485					
	(国・県)	24,926	495	5,821					
	(負担金等)								
	(一般財源)	29,459	555	39,664					
	人員配置数	1.5	1.6	1.3					
	人件費(千円)	13,387	13,903	11,976					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	67,772	14,953	57,461					
	市民1人当 りの経費(円)	382	84	325					
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒								
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
交通安全対策事業の達成率	○	目標値	45%	55%	65%	75%	100%		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標を越え 〻後退		実績値	51.0%	60.0%	65.0%				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
交通安全対策事業	54,385千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	■B	□C □D □E
	事業の概要	あんしん歩行エリア内やスクールゾーンの安全対策としてカラー舗装化等を行い、交通事故の削減を図る。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	安心・安全な歩行空間の整備として、カラー舗装化や歩道段差切下げ等の整備を行った。その際、制約された区域内での施工のため、安全対策などについて、関係者等の理解と協力を得るまでに時間を要した。
課題解決のための取組	交通誘導員の適切な配置を行うことで理解を得、且つ工期の短縮を図った。
未解決の課題	国庫補助事業においては、特徴のある材料の使用に制限等があることから、一般的な整備にとどめざるを得ない。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 計画段階から地権者等へ十分な説明を実施し、理解と協力を得ることで、円滑な事業の推進に努める。	※□事業完了
	②妥当性 ○	↓ B			課長等名
	③有効性 ○				道路課担当課長
	④公平性 ○				吉野 正弘

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
交通安全対策事業	1032	あんしん歩行エリア整備工事	23,400	2,373	■適切 □見直し余地あり
	1032	交差点改良工事	78,000	52,012	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり